



SENRI KINRAN
UNIVERSITY

千里金蘭大学

学 報

〒565-0873 吹田市藤白台 5-25-1 TEL06-6872-0673 (代)

年頭所感



より建設的に

千里金蘭大学学長 島崎 靖久

新年明けましておめでとう御座います。学長として1年間の行事を済ませたとこゝろであり、これで、大学として1年間の間になすべきことを学んだことになりました。この経験から学んだことを活かしていきたいと考えております。そして、より建設的に考えて行動に移すことを基本と致します。

新しく決まったこともあります。大学の現状を鑑みて、この4月から学生定員を1学年当たり看護学部90名、生活科学部児童学科を70名へ変更することとしました。看護学部教員の皆様には学生数が増え、その分負担が多くなることとなりますが、更に充実した学生教育のためにこれまで以上のご尽力を頂けます様お願い申し上げます。もう一つ、この3月から大学生生活協同組合が設立され、学生の生活環境が改善されることになりました。

大学の使命はより優れた学生を育てることにあります。それには教育の質の向上が必要であります。今年も、これに邁進致します。本学の特徴の一つはこじんまりとした大学であり、教職員と学生の

距離が近い事であります。これを十分に活かした教育の場の育成に努めたいと思っております。先ずは教育の場を形成する教職員と学生の人格の向上が求められていと感じています。これは、各人が自分を見つめ、建設的に考え行動することから始まると思えます。これに向けて皆様と共に成長していけますよう、願っております。

4年次学生諸君の中には卒業を目前にして、国家試験に向けて奮闘している人も多いことでしょう。ここに至っては最後の時期であります。いい結果を得るために、最後の最後まで、これ以上励んだことがないと実感出来るほどに努力をして頂きたいと思えます。それがいい結果に繋がるものと信じています。そして、この経験が自信となつて、その後の人生にどれほどの力となるかを知ることが出来るでしょう。懸命な努力の喜びを是非とも味わって頂きたいと願っています。

メイシアター・千里金蘭大学共同事業

ファミリーミュージカル 「月あかりのDANCE」

主催：吹田市・(公財)吹田市文化振興事業団・千里金蘭大学

公演：2015年3月14日(土) 18:00

15日(日) 13:00/17:00

場所：メイシアター(阪急千里線吹田駅前)

内容：荒れた竹林。そこに棲む万物の声が「ミスト」という精霊となって現れ、竹林にやってきた人間たちを小さくしてしまいました。彼らはそこで出会った小さな生物の生きざまを通し、人間のあるべき姿に気づかされます。

プロの俳優、ダンサー、オペラ歌手に加えて、千里金蘭大学の学生とオーディションに合格した市民が、ストレス社会に生きる現代人の心を揺さぶるファンタジーをお届けします。

※詳細については、子ども支援協働研究室(内線5109)まで



部 局 便 り

食物栄養学科

給食経営管理実習

給食経営管理実習は3年生後期の授業で、食物栄養学科特有の実習でもあります。管理栄養士にとって給食経営管理は最も基本業務で、卒業後多くは就職先で給食業務が必要となります。

給食施設における管理栄養士の仕事は、調理業務ではなく献立作成等の栄養管理や食材料の発注、原価管理、調理スタッフへの衛生指導等が主なものです。給食経営管理実習では献立の立案から原価管理までの全体の流れを理解するために、一回100食を超える大量調理も実習内容に含まれています。実習に用いる献立は基本的には学生自ら作成したもので、試作を行う必要に応じて修正します。したがって、これまで同じ内容の献立は一度もありません。毎回初めてですのでハプニングやトラブルも少なくありません。量が多くなると勝手が違ってしまいます。食事を提供する対象は学内の教職員と食物栄養学科の学生ですが、近年はメール受け付け開始後2時間ほどで予定数に達する好評ぶりです。

この実習は1時間からはじまり午後の3時限までの授業ですが、実際には昼休みの時間に食事を提供するため、学生は休み無しの長時間実習となります。大変な面もありますが自分たちの作成した献立が現実の食事になる過程を体験

できることもあって、結構楽しく取り組んでいます。毎回グループから企画担当者を数人選び、その日の栄養価や栄養情報の媒体を作成し、BGMやテーブルコーディネートも工夫しています。(岡村吉隆)。

児童学科

大学祭での取組

児童学科では、様々な活動を通して専門性を深めるとともに、積極性やリーダーシップ、コミュニケーション能力などの育成にも力を注いでいます。10月に実施された大学祭では、今年も児童学科の催しやブースに多数の方にお越し頂きました。

1年生は「こどものひろば」を企画運営しました。宝探しやストラックアウト、もぐら叩き、工作など、学生が手作りで用意した様々な遊びを地域の親子に楽しんで頂きました。

各ゼミの取組みもご紹介いたします。初日の夕刻にはキャンドルロードの設営を行い、幻想的な明かりで花火会場までを照らししました。また、子どもたちにハロウィンの仮装を楽しんでもらうコーナーもありました。「学生によるオレンジリボン運動」では子ども虐待防止に関する展示を行い、皆様からあたたかいメッセージを頂きました。国際子ども支援に関するポスター展示も好評でした。お預かりした募金は、児童虐待防止

全国ネットワーク、児童虐待防止協会、吹田市の復興支援募金に寄付しました。ご協力有難うございました。

9～11月にかけて、4年生2人、3年生5人が小学校実習に行きました。12月には3年生が施設実習(保育実習)を経験しました。皆、緊張して実習に臨みましたが、手ごたえを胸に充実した表情で大学に戻ってきました。実習で得られた問題意識や課題への取組みを通して、免許資格の取得に向けて着実に歩みを進めています。児童学科の今後の活動も是非ご期待下さい(串崎幸代)。

看護学科

「住友病院クリスマスコンサート」に参加して

12月12日(金) 夕方から住友病院で行われたクリスマスコンサートに、総勢25名(2年生14名、3年生11名)の看護学部生が参加し、患者様や病院職員の方々の前で合唱を披露いたしました。

2年生は後期試験前の授業の合間を縫って合唱練習を重ね、3年生はちょうど実習中もあつたことから、受け持ち患者様との話を機に参加した学生もいました。本番は緊張の中、「クリスマススメドレー」ではのびやかに、「レット・イット・ゴー」では壮大に、「ビリーブ」では聴いてくださった方々のご多幸を祈りながら、心を込めて

歌わせていただきました。今回リーダーを務めた足立真希さん(2年生)は、「来て下さった皆さんが、私たちの歌を笑顔で聴いていました。私たちはそれを見てとても嬉しかったです。看護師や職員の方々も、全員で楽しみながら歌うことができました。来年もぜひ参加したいです」と語っていました。

医療機関では近年、アメニティの充実や地域交流を目的とした催しが盛んに行われています。学生たちは、普段の授業や実習とは違った場での活動を通して、あらゆる人を癒す看護学の大切さを体感したのではないのでしょうか。多忙なカリキュラムの中にあつても、人のために労を厭わず尽くすことの精神「ココロかんご」を日々培っていると実感した日でもありました(北尾良太)。

生涯学習センター

「生涯学習吹田市民大学」を開催

後期の公開講座も順調にスタートしました。約30の講座に、400人近い地域の方たちが学ばれています。この公開講座の他に、後期は吹田市との共催で「第8回生涯学習市民大学 千里金蘭大学キャンパス講座」(全5回)を開催しました。この講座は、すでに8年目になりますが、市民の方々に文化的なあるまじりのユニークな講座を開きたいという吹田市の要請か

ら始まりました。第1回目は参加者が100人弱でしたが、毎年徐々に参加者も増え、現在は130人ほどの受講者になっています。毎年、楽しみに聴講に來られる方が多く、市民の人気講座なっています。

今年は、「女性と文化の古今東西」というテーマで、女性を主人公にした古典文学から現代社会の女性のあり方、宗教と人間社会を見渡すような講演を五回にわたって準備しました。講演の演題と講師の先生は、次の通りです。



第1回 11月18日 文楽の八百屋お七(片山剛本学教授)

第2回 11月25日 平家物語に描かれた女性・小宰相を読む(四重田陽美大阪大谷大学教授)

第3回 12月2日 現代神社事情(太田垣巨世尼崎えびす神社社主)

第4回 12月9日 アラブ湾岸

地域の助成活動(李 知妍梅花女子大非常勤講師)

第5回 12月16日 パリに暮らす女性たち・異文化の垣端で(御興本学名誉教授)

受講生の方たちは、毎回目にお話しに聞き入っておられました(生形貴重)。

教養教育センター

授業を通じた地域連携

1年次必修科目「社会貢献論」は、「建学の精神を理解し、社会貢献を実践する人材の育成」を目標としています。受講生には、普段の学生生活を充実させることが社会貢献につながるという考え方を理解していただき、その上で具体的な社会貢献の事例を学んで頂きます。そのために、学外からゲストスピーカーをお招きして「直接的社会貢献」の現場での実態を学ぶための各種講座を企画しています。今年度も、「デートDV啓発講座(吹田市男女協働参画センター)」「認知症サポーター養成講座(吹田市保健福祉部)」「地域における国際交流(箕面市人権文化部)」「JICAボランティアセミナー(JOCA近畿支部)」をそれぞれ開催することができました。

者になってもらいます。そのうえで、自分のできる範囲で活動できればいいのです。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として、できる範囲で手助けをする、など活動内容は人それぞれであることを学びました。「地域における国際交流」では、「文化とは氷山のようなもの、見えない部分が大きく、そこを理解するためにコミュニケーションが必要」という認識のもと、箕面市の実態と本学の近くに立地する「箕面市多文化交流センター」の活動内容を学びました。

きました。いずれの場合も、今すぐ自分が何かをしなければならぬ、ということではありません。あくまでも学生としての日常生活を充実させる＝自分の持ち場で頑張ることが基本であり、その上で、将来のキャリアを見通すための参考としていただくものです。すこしでも、受講生の未来についてのヒントを得ていただければ幸いです(寺口 瑞生)。

「デートDV」とは実際相手から受ける暴力のことですが、「殴る、蹴るなどの身体的な暴力だけでなく、どなる、おどす、あるいは行動を制限する(交友関係を細かくチェックする)など、相手を自分の思いどおりに支配しようとする態度、行動も含まれる」ことを学びました。

「認知症サポーター」については、「なにかをとくべつにやってみようものではありません。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援

「JICAボランティアセミナー」では、ODA(政府開発援助)とJICAについて学んだ後、青年海外協力隊の活動内容と応募方法、隊員の体験談を聴きました。今年度は、コロンビア・スリランカ・ウズベキスタンの各地でそれぞれ栄養指導・幼児教育・看護指導に携わられた方々の興味深いお話を聴かせていた



卒業を迎えるみなさんへ

千里金蘭大学2014(平成26)年度卒業式は、3月17日(火)に行われます。卒業予定者の皆さんへ、生活科学部長・看護学部長・付属図書館長からはなむけのメッセージを頂きました。

生活科学部長 兒玉 成一

生活科学部食物栄養学科・児童学科の皆さん、卒業おめでとう。心からお祝い申し上げます。

私は、この言葉をいう場面ではいつも言おうと決めているのですが、この言葉をかけられたとき、みなさんはきっと「有難うございます」と言葉をくれた人に返すと思います。でも、この言葉は誰よりも先ず一番に、この4年間千里金蘭大学で勉強させてくれた保護者の方々に言ってもらいたいと思います。どんな時も、人に感謝し人に生かされているという気持ちを忘れないで欲しいと思います。

生活科学部の両学科は、資格取得を目的にカリキュラムが構成されていて、食物栄養学科は管理栄養士の国家資格を、児童学科、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格取得です。皆さんにとっては、そのための勉強すなわち「学業」を修めるために大変忙しく、その時間は厳しかったけどあつという間で、いろんなことを学んだ4年間ではなかったかと思えます。

これから皆さんは、社会人として新たなスタートを切るのですが、社会人としてはまだなに

も知らない1年生です。大学での「学業」を終えることが、「学ぶ」ことを終えることを意味するものではありません。みなさんは、ここ千里金蘭大学で得たことを礎として、これから目の前に現れる新たなことにどんなチャレンジし、そのなかでこれからの「学び」続け、これからも新たな自分を開拓していくことを期待しています。

看護学部長 竹村 節子

看護学部4期生の皆さま卒業おめでとうございます。

皆さまと過ごした4年間、長いようで短くも感じられます。講義や実習(皆様とは3年次後期のみでしたが)を通して皆さまの成長のプロセスを見てきました。本当に美しく知的な大人になられたと思います。

臨地実習では講義と違い身近に一人ひとりと関わることで、受け持ち患者さまを通して「看護とは何か」を一緒に考えてきたことを懐かしく思い出します。教師として悩むこともありました。真面目で素直な皆さまから頂いたパワーでまた頑張ろうと思えることができました。臨地実習で学んだことは本当に貴重な体験です。私自身臨

地実習での体験・経験はいつまでも鮮明に記憶に残っています(特に失敗したこと、指導者に注意されたこと)。

卒業は一つの節目です。社会人としてスタートラインに立たれるのです。入職してから6ヵ月〜1年間は現場での実践を身につけなければなりません。辛いことや悲しいこと、時に悔しい思いをすることが多々あると思います。それは誰もが経験することです。一人で悩まず上司、先輩看護師に相談したり、同期入職者と悩みを共有し時には愚痴を言いながら乗り切ってください。きつとその先には目指すべき看護がひらけてくると思います。

時々は皆さまの学び舎である千里金蘭大学を思い出してください。先生方は皆さんと会えることを楽しみにされていると思います(臨床の場どのように働いているのか、看護職者として共通のお話ができることと思えます)。

最後に、心身ともに健康に留意されご活躍されることを心よりお祈りします。

附属図書館長 國井 哲義

卒業を迎える皆さん、おめでとう。雨の日も風の日も、4年間頑張っていたよいよ卒業のときを迎えましたね。これから皆さんは大学を旅立って、社会人として人生の新しいスタートを切ることになります。いよいよ新しい人生が始まるわけです。

これからのような人生を送ることにもなるうとも、一生勉強は続けなければなりません。大学で学んだことは、必ずその助けとなります。在学中に図書館をたくさん利用した方であれば、あまり図書館に足を向けることがなかった方であれば、これから実社会で学ぶことは山のようにあります。図書館は卒業後の皆さんの、生涯にわたる学習のお手伝いをさせてもらうつもりです。

皆さんは卒業後も在学中と同じように図書館を利用することができます。手続きは簡単です。来館したらカウンターで申し込みに用紙に必要事項を記入してください。一年間有効のライブラリーカードが発行されます。もちろん本の貸し出しも可能です。そしてこのカードは何年でも更新することができます。つまり皆さんは、一生涯付属図書

館の利用が可能です。

図書館は、皆さんに卒業後もどんどん利用していただいで、生涯にわたる学習の場として使っていただくことを心から願っています。

今後のご活躍とご多幸を祈っています。また図書館で会いましょう。

編集後記

阪神淡路大震災から20年が経過しました。少なからぬ学生たちが、震災を直接体験していないという現実には少し驚いています。少なくとも、日本でボランティアが根付くきっかけとなったという事実は共有して頂きたいものです。今年度の学報はこれが最後、次回は4月15日発行予定です(て)

千里金蘭大学 学報 (第9号)

発行 2015(平成27)年1月23日(金)
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1
千里金蘭大学学報編集委員会
Tel 06-6872-0673(代)

大学Web <http://www.kinran.ac.jp/>
携帯サイト <http://www.kinran.ac.jp/mb/>
公式Twitter <https://twitter.com/SenriKinranUniv>
受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>
受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>